



# セーフティー

## 長野分会

No.67



## 年末年始の労災防止へ安全確認

### 安全パトロールと集団指導

建災防の建設業年末年始労働災害防止強調期間（12月1日～2026年1月15日）に合わせて、当分会の年末労働災害防止安全パトロールと冬季労働災害防止集団指導が12月11日に行われた。パトロールは、安全指導者会と一般会員、長野労働基準監督署、県や長野市などの発注官庁から27人が参加。長野市内の建築・土木現場で三大災害や冬季災害への備えなどを確認した。

出発式で、飯島泰臣分会長は「労働災害撲滅の最前線は安全パトロール。経験を生かして現場に潜む危険の芽を摘み、結果報告と集団指導も含めて安全意識を高めてほしい」と呼びかけた。

パトロール終了後の報告会では、「出入口の敷き鉄板に滑り止めの加工がされている」「配管用の鉄筋先端をカバーで養生している」「昇降施設を上下しっかり固定して安全を確保している」などの良好な点を紹介。一方、

「発電機のアースがとられていなかった」「足場で筋交いが必要な箇所の措置が必要」「バックホーの定期検査のシールが貼られていない」などの問題点も指摘した。

集団指導はパトロール参加者と会員企業から約50人が参加。長野労基署の小野山隆紀安全衛生課長が「冬季労働災害防止等」と題して、年末年始に備えた労働災害への対策や、冬季に多い転倒災害防止に対する重点事項を解説。1月から段階的に施行される労働安全衛生法と作業環境測定法の改正ポイントを話した。

長野産業保健総合支援センターの高橋知也メンタルヘルス促進員・相談員が、メンタルヘルス不調の予防・早期発見とストレスチェックの活用について講演した。

最後に原山大輔安全指導者による指差唱和が行われ、全員で年末・年始のゼロ災を誓った。

# パトロールの結果

## 【特に良好と認められた点】

- △傾斜地に駐車した車の輪止め良好
- △階段状の作業通路両側に手すりを設置
- △敷き鉄板の上に塩カルを撒き転倒防止
- △化学物質の管理責任者等の表示良好
- △仮設資材の置き場を明確化しキレイに仮置き
- △重機の行動範囲と作業通路を明確に分けている
- △昇降設備を固定し表示も良好
- △緊急時の油液処理BOXを設置
- △喫煙所に消火器とバケツ
- △トイレ男女に分かれて清潔

## 【是正・改善を要する点】

- △コードリールを出し切らずに使用している
- △重機は点検したが点検シールが貼られていない
- △足場の筋交いが必要な箇所に筋交いが無い
- △足場で昇降階段を作っていたが固定されていない
- △足場の端部に転落防止措置がなかった
- △足元に段差がありつまづく危険がある
- △狭い作業ヤードで重機の動きに注意が必要
- △荷下ろし等の車両に輪止めがなかった
- △クレーン作業用の吹き流しがなかった
- △重機の旋回範囲の下で他の重機が作業していた

## ◆印象に残ったパトロールポイント<良好な事例>

### ●熊対策①

クマ対策用キットを用意し、施工前に爆竹等を鳴らしてから作業に入っている



### ●熊対策②

クマの足跡があったため注意喚起と対応について掲示



### ●火気への備え

吸い殻入れの下に消火器を設置し初期火災対策が合理的



### ●転倒防止①

出入口の鉄板に滑り止め加工がある



### ●転倒防止②

安全通路にムシロを敷き凍結時の滑り止め対策がされている



## ◆印象に残ったパトロールポイント＜良好な事例＞

### ●転落防止措置①

開口部に落下防止用ネットを張っている



### ●転落防止措置②

開口部に立入禁止措置と明確な掲示あり



### ●安全確認の徹底

クレーン作業等での合図方法を掲示している



### ●産業廃棄物の管理

カラーコーンなどで囲いをつくり何を置いているか明確にしている



### ●緊急時の対応準備①

河川の現場に浮き輪を設置し、避難箇所等の明示あり



### ●緊急時の対応準備②

緊急用の油液処理BOXを設置



## ◆印象に残ったパトロールポイント<良好な事例>

### ●施工の「見える化」

ドローンで定期的に進捗状況を撮影して掲示することで地域住民に状況を伝えている



### ●土砂の散逸防止

出入り口で車が出る時にタイヤを洗浄し泥の流出を防いでいる



### ●快適な環境確保

足洗い場を用意し、長靴を洗ってから足場に入る工夫がある



### ●転倒時の重傷防止

鉄筋に安全キャップを付け、作業員が転倒した際に刺さるなどの事故を防止する



## ◆印象に残ったパトロールポイント<改善を要する事例>

### ●足場の倒壊・崩壊の危険①

筋交いが足りない状態のため構造確認が必要



### ●足場の倒壊・崩壊の危険②

足場の基礎が不安定な状態



# ◆印象に残ったパトロールポイント<検討を要する事例>

## ●転倒・転落の危険①

現場に入る昇降用の足場板が固定されていない



## ●転倒・転落の危険②

昇降階段の下端が浮いている踏み外しや跳ね上がる危険がある



## ●冬場の転倒の危険

昇降階段を昇った先に雪だまりがありすべる危険



## ●二次製品の養生

置き方が不安定になっているので安定した養生が必要



## ●電源BOXの管理

仮置き電源BOXがぶら下がった状態で設置されている



## ●感電等の危険

発電機のアースがとられていなかった





長野労働基準監督署  
署長 森 孝行

## 令和8年無事故無災害に向けて

新年あけましておめでとうございます。

建設業労働災害防止協会長野県支部長野分会の会員各位におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、飯島分会長をはじめ会員の皆様方には平素より労働基準行政の運営に深いご理解と格別なるご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、令和7年の長野労働基準監督署管内の労働災害については、12月末現在の速報値で、休業4日以上の死傷者数が378人と、労働災害が多発した前年同期と比べ、53人、12.3%の減少となっております。

このうち、建設業では、32人と前年同期と比べ20人、38.5%の大幅な減少となっており、その中で、その他の建設業は前年同期と比べ同数の7人ですが、土木工事業は9人と7人の、建築工事業では16人と13人の大幅な減少となっており、長野分会、会員の皆様方の労働災害防止に向けた取組が結果として現れたものと考えております。ご尽力に感謝申し上げます。

事故の型別で見ますと、32人中、墜落・転落が11人、切れ・こすれが5人、飛来・落下が4人、動作の反動・無理な動作が4人、転倒が2人、激突が2人の順となっております。突出して多くを占めている墜落・

転落では、2メートル未満の箇所からの墜落・転落による労働災害も見られるところであり、危険感受性が低くなりがちな2メートル未満の箇所で作業を行う際でも、働く方、一人ひとりの危険感受性を高め、危険回避行動が確実にとられるような現場の取組をお願い申し上げます。

また、冬季は、降雪や凍結等を要因とする労働災害が多発しています。積雪や凍結による転倒をはじめ、凍結路面等による交通事故、除雪作業時の重篤な災害といった冬季特有の労働災害を防止するための対策をあらかじめ適切に講じるようお願い申し上げます。

中央労働災害防止協会の令和8年の安全衛生標語は、「危険の芽 摘んで安全 咲く笑顔」です。

皆様方におかれましても、短期間のうちに現場の状況や安全設備等が変化する中、見過ごしがちな現場に潜んでいる危険の芽を一つひとつ摘んでいただき、より安全な現場、働く方が笑顔でモチベーションをあげて仕事することができる環境を、働く方と一緒に作っていただきたくお願い申し上げます。

結びになりますが、建設業労働災害防止協会長野県支部長野分会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

### 峰電舎に安全衛生優良賞 兵庫で全国建災防大会

建設業労働災害防止協会（今井雅則会長）と建災防兵庫県支部（三木健義支部長）が共催する「全国建設業労働災害防止大会」が10月2～3の2日間、神戸市内で開催された。2日の総合集会で今井会長は「労働災害防止活動の大切さを再認識し、災害ゼロへの決意と、建設業が憧れの産業になるよう健康で安全安心に働ける職場環境を整えてほしい」と呼びかけた。

当分会からは、飯島泰臣分会長、鹿熊聡副分会長、柳澤正則副分会長、藤森将一安全指導者会長、深見健

吾事務局長、安全衛生表彰優良賞を受賞した峰電舎の峯村孝則社長が参加した。



# STOP！ 冬季労働災害

～転ばぬ先の「靴選び」と「凍結防止」を～



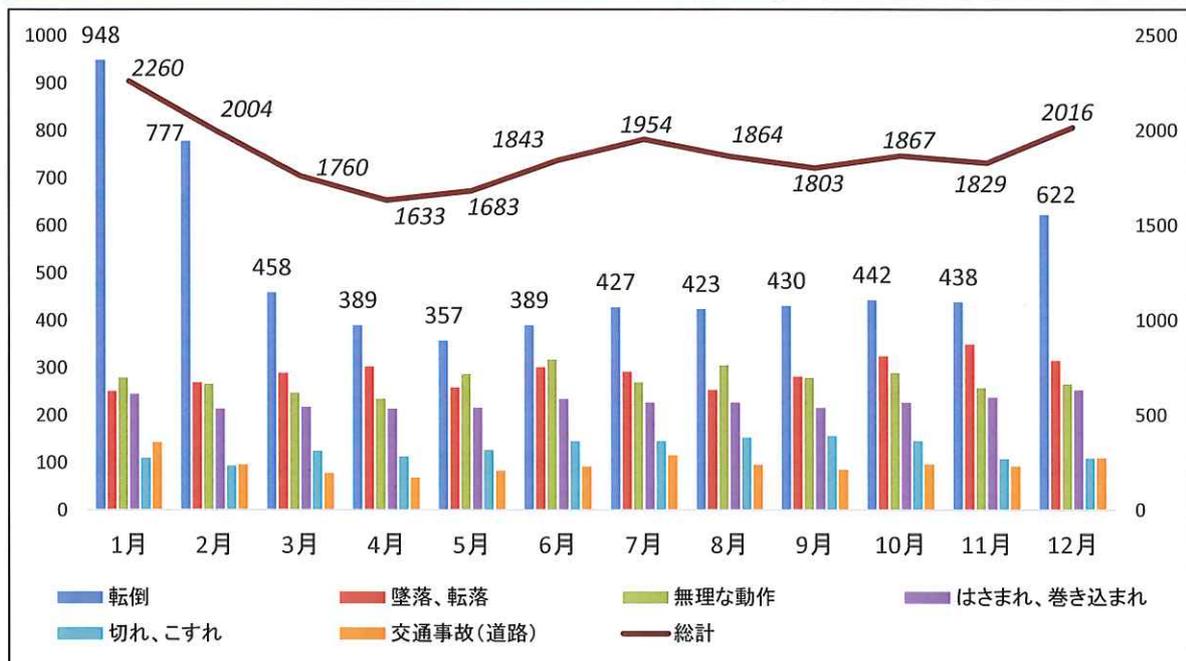
冬季は

**転倒災害のリスクが大幅に増加**します。

冬季においては、降雪や凍結等を要因とする労働災害が多発しています。特に1月の転倒災害発生件数は、3～11月の平均の約2倍です。

## 月別労働災害発生状況（過去10年間）

※平成27年7月1日～令和7年6月30日発生  
※死亡又は休業4日以上の労働災害（単位：人）  
※令和7年10月31日までに把握した労働者死傷病報告調べ。



## まずは重点事項から！



個別の対策については長野労働局HP「冬季災害防止特設コーナー」を参照

1. 冬季に入る前までに準備期間を設定し、職場巡視等を実施しましょう。
2. 凍結しやすい箇所など転倒リスクの高い箇所に対して対策を講じましょう。
3. 交通労働災害を防止するため、早期の冬用タイヤへの交換、運転実施者への安全運転教育等を行いましょ。
4. 除雪・融雪等作業を行う場合は墜落・転落、転倒、はさまれ・巻き込まれ災害等の危険性を作業開始前までに特定し、対策を講じましょ。



# 転倒災害を防止しましょう！



1. 床面等は、くぼみや段差がなく、滑りにくい構造とし、凍結等で滑りやすいところは、滑り止めの措置を講ずるなどの措置のほか、除雪、融雪剤の散布により安全通路を確保しましょう。また、凍結路面等が見えにくい場所については、夜間の照明の照度を上げる等の対策を講じましょう。
2. 床等の水たまりや氷は放置せず、その都度除去するとともに、溜まりやすい箇所には吸湿性のあるマットを敷く等の措置を講じましょう。
3. 履物は、凍結等のリスクに見合ったものを着用しましょう。また、靴底がすり減っていないかを点検しましょう。
4. 階段には、滑り止めや手すりを設け、走らず、一段飛ばしを行わないようにしましょう。
5. 凍結の有無を確認してから次の動作に移るようにしましょう。特に「ながら歩き」等の危険行動については厳禁とするよう注意喚起を行い、また、凍結のおそれのある場所では、滑り等による転倒等を意識して歩き、むやみに走らないようにしましょう。
6. 服やズボンのポケットに手を入れたままの歩行は避けましょう。また、作業服装は着ぶくれとならないよう配慮しましょう。
7. 建物等の入口には、雪、水分を除去するためのマットやブラシ等を備え、凍結の要因となる水分を持ち込ませない措置を講じるとともに、凍結のおそれのある屋内の通路、作業場への温風機の設置等による凍結防止策を実施しましょう。
8. 屋外通路や駐車場における転倒災害のリスクに応じた「危険マップ」の作成を行い、関係者に周知しましょう。
9. 凍結した路面、除雪機械通過後の路面等における荷物の運搬方法、作業方法の見直しを行いましょう。
10. 上記1から9の事項について、労働者に対して周知・注意喚起等すべきものについては、教育やミーティングの場を通じて適時周知等しましょう。

## 滑りにくい「靴底」の冬靴を選び、凍結した路面や雪の上での転倒に備えましょう！

※ただし、通路等の床面によっては、却って滑りの原因となる場合やマット等に引っ掛かるなど転倒の危険がありますのでご注意ください。

### ・ピン・金具付きの底

先の尖った金属のピンや金具が靴底に取り付いており、かたい氷を強くひっかき突き刺します。



### ・軟らかいゴム底

軟らかいゴム底を使った靴底は、路面に対する接着力が強いので、滑りにくくなっています。



### ・深い溝のある靴底

深い溝のある靴底は、グリップ力が強く滑りにくくなっています。靴底が軟らかいものを選ぶとなお効果的です。



### ・滑り止め材入りゴム底

滑り止め材が加工されている靴底は「やすり」のように路面の表面をひっかかため滑りにくくなっています。



### 事務所出入口のヒートマットの設置例



凍結等により滑りやすくなる箇所には事前の対策を！

### 転倒危険場所の見える化ステッカー



「危険の見える化ステッカー」で検索  
(職場のあんぜんサイト)

発行所 建設業労働災害防止協会長野県支部長野分会  
 長野市岡田町124-1長水建設会館内 電話026-227-6226

発行責任者 飯島泰臣 藤森将一

編集制作 長野経済新聞社